

令和6年7月6日(土) (計1日間5時間)

〈講座概要〉

「数学の厳密さ」って何でしょう？今回はこのとについて、数列の極限を通して考えてみます。高校の数学Ⅲでは、数列の極限・収束を「限りなく」というあいまいな言葉を使って表現していますが、「限りなく」って何でしょう？またいわゆる「はさみうちの原理」って証明はあるのでしょうか？

このようなことに答えながら、5時間という限られた時間の中で受講者の方たちに『分かった』という感覚を少しでも持ってもらえるように授業を展開していこうと思います。このために、上限・下限の考え方や連続性の公理から始めます。最終目標を、数列の極限を厳密に取り扱うということにします。関数の連続性・微分・積分などには触れることができないので注意して下さい。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	高校生，大学生，一般 特に、進路選択で数学科を考えている高校生には数学科について知る良い機会になるかもしれません。
◆受講料	5,300円
◆申込期限	6月21日(金) 17:00
◆実施場所	富山駅前 CiC ビル 大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
◆特記事項	

〈講座内容〉

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	7月6日(土)	9:30~10:30	この授業では何を話すのか？ 連続性の公理とは何か？	藤田 安啓	理学部・教授
2		10:45~11:45	数列の収束：定義と性質		
3		12:00~13:00	1回目と2回目の授業の演習		
4		14:00~15:00	数列の収束：発展的問題		
5		15:15~16:15	まとめ		

〈県民カレッジ単位〉

5単位